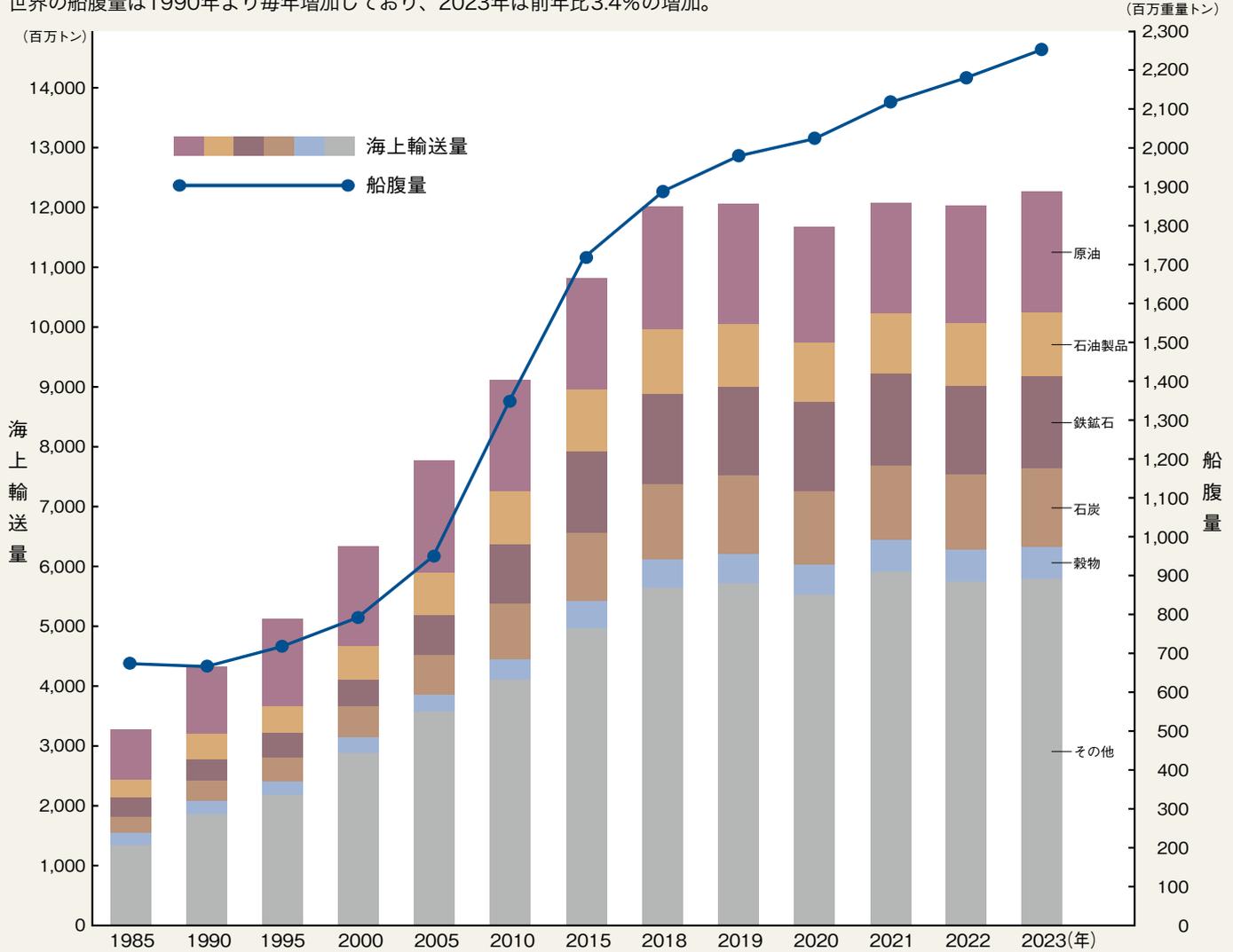


1 主要品目別海上輸送量と船腹量

世界の海上輸送量は、2020年に新型コロナウイルス感染症の影響等で減少したが2021年に回復。2023年は前年比2.5%の増加。世界の船腹量は1990年より毎年増加しており、2023年は前年比3.4%の増加。



2023年において世界の主要品目別海上輸送量は、石油25.1%、鉄鉱石12.5%、石炭10.7%、穀物4.2%を占めている。近年ではコンテナ貨物を含むその他貨物の割合が増加し、2023年では47.5%を占める。

出典：Clarksons [SHIPPING REVIEW DATABASE]、UNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2023]、IHS [WORLD FLEET STATISTICS]、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES]、Fearnleys [REVIEW]

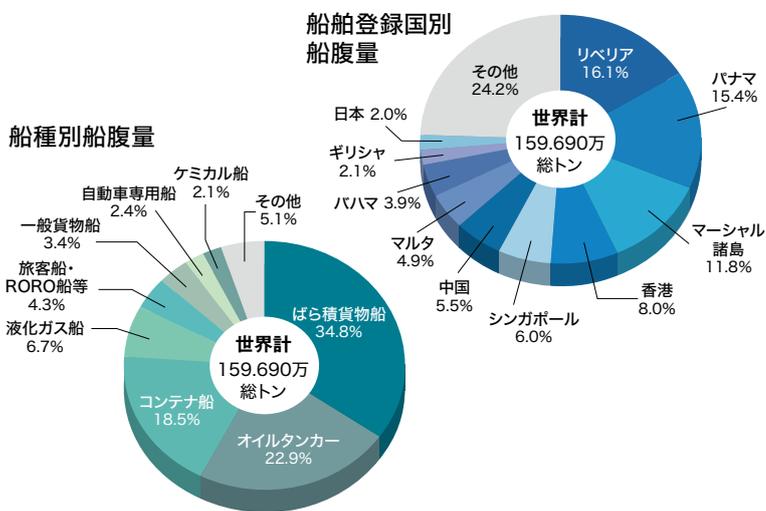
世界の主要品目別海上輸送量(百万トン)									船腹量(百万重量トン)	
年	品目	石油			鉄鉱石	石炭	穀物	その他		合計
		原油	石油製品	計						
1985		871	288	1,159	321	272	181	1,360	3,293	674
1990		1,133	415	1,548	356	331	195	1,855	4,285	667
1995		1,505	498	2,003	404	402	193	2,205	5,207	718
2000		1,745	586	2,331	447	509	230	2,877	6,394	792
2005		1,995	725	2,721	656	671	248	3,582	7,878	951
2010		1,917	904	2,821	990	927	319	4,132	9,189	1,349
2015		1,920	1,042	2,962	1,358	1,138	430	4,985	10,873	1,718
2018		2,049	1,117	3,166	1,478	1,275	474	5,615	12,008	1,883
2019		2,003	1,085	3,088	1,457	1,300	481	5,739	12,065	1,979
2020		1,852	966	2,818	1,508	1,181	524	5,657	11,688	2,025
2021		1,838	1,011	2,849	1,529	1,227	531	5,944	12,080	2,116
2022		1,975	1,049	3,024	1,478	1,227	516	5,797	12,042	2,180
2023		2,023	1,072	3,094	1,543	1,315	524	5,862	12,338	2,254

(注) ①海上輸送量については1985年はFearnleys [REVIEW] 各年版。 ②1990年までの船腹量については、Lloyd's Register of Shipping [STATISTICAL TABLES] 各年版による年央値であり、1995年以降はIHS [WORLD FLEET STATISTICS] による年末値である。 ③1995年以降の船腹量は、漁船等を除いた値である。 ④端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。 ⑤2021年以降の船腹量はUNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT] による年末値である。

2 登録国別・船種別船腹量

世界の船舶登録国(船籍国)別船腹量はリベリア、パナマ、マーシャル諸島等が上位を占める。船種別では、ばら積貨物船、オイルタンカー、コンテナ船の順となっている。

出典：Clarksons Reserch [WORLD FLEET MONITOR]



船舶登録国別船腹量

順位	国別	隻数	万総トン	国別保有割合 (%)
	世界合計	108,657	159,690	100.0
1	リベリア	5,211	25,700	16.1
2	パナマ	8,323	24,670	15.4
3	マーシャル諸島	4,271	18,900	11.8
4	香港	2,486	12,820	8.0
5	シンガポール	3,246	9,630	6.0
6	中国	9,442	8,740	5.5
7	マルタ	1,867	7,870	4.9
8	バハマ	1,266	6,180	3.9
9	ギリシャ	1,210	3,400	2.1
10	日本	5,267	3,170	2.0
11	インドネシア	12,206	2,340	1.5
12	マディラ諸島	815	2,200	1.4
13	デンマーク	580	2,210	1.4
14	キプロス	993	2,110	1.3
15	韓国	2,159	1,730	1.1
16	ノルウェー	689	1,680	1.1
17	イタリア	1,240	1,280	0.8
18	イラン	984	1,190	0.7
19	マン島	261	1,160	0.7
20	米国	3,502	1,140	0.7
	その他	42,639	21,570	13.5

(注) ①中国には、香港及び台湾を含まない。

②2023年の数値。

③端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

(注) ①2023年の数値。

②端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

船種別船腹量

順位	船種別	万総トン	構成比 (%)
	世界計	159,690	100.0
1	ばら積貨物船	55,540	34.8
2	オイルタンカー	36,490	22.9
3	コンテナ船	29,470	18.5
4	液化ガス船	10,650	6.7
5	旅客船・RORO船等	6,830	4.3
6	一般貨物船	5,350	3.4
7	自動車専用船	3,860	2.4
8	ケミカル船	3,300	2.1
	その他	8,200	5.1

3 アジア各国の支配船腹量

アジア主要国の船会社が実質保有する船の船腹量が世界の46.1%を占め、そのうち、日本、中国の割合が51.9%を占める。

※各国の船会社が保有する自国籍船及び海外子会社が保有する外国籍船の合計。

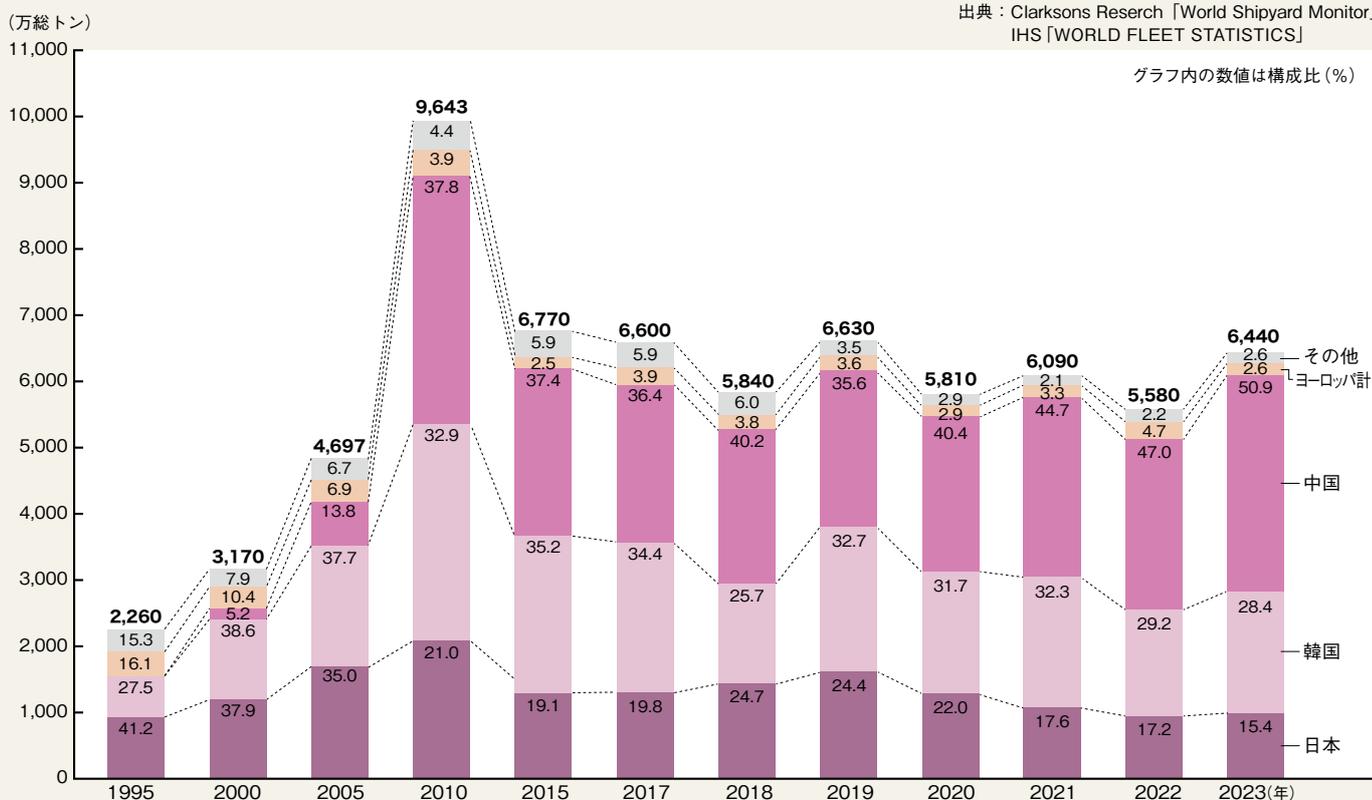
出典：UNCTAD [REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2023]

	隻数	船腹量(千載重量トン)			外国籍船割合 (%)	世界シェア (%)	アジア主要国シェア (%)	
		自国籍船	外国籍船	合計				
アジア主要国	日本	4,023	37,438	200,224	237,673	84.24	10.5	51.9
	中国	8,839	121,810	179,067	301,997	59.29	13.4	
	韓国	1,696	17,588	79,518	97,144	81.86	4.3	48.1
	香港	1,842	72,339	44,542	117,287	37.98	5.2	
	シンガポール	2,813	68,494	72,237	140,825	51.30	6.2	
	台湾	1,054	6,280	52,197	58,549	89.15	2.6	
	マレーシア	607	6,664	3,248	9,959	32.61	0.4	
	インド	1,145	17,357	13,203	30,726	42.97	1.4	
	インドネシア	2,458	25,565	2,811	28,657	9.81	1.3	
	ベトナム	1,170	11,633	4,360	16,060	27.15	0.7	
	アジア主要国合計	25,647	385,168	651,407	1,038,877	61.31	46.1	
アジア主要国以外	30,944	247,532	937,881	1,214,662	77.21	53.9		
世界合計	56,591	632,700	1,589,288	2,253,539	70.52	100.0		

(注) ①2023年1月の数値。 ②対象船舶は1,000総トン以上の船舶である。端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

4 商船建造量

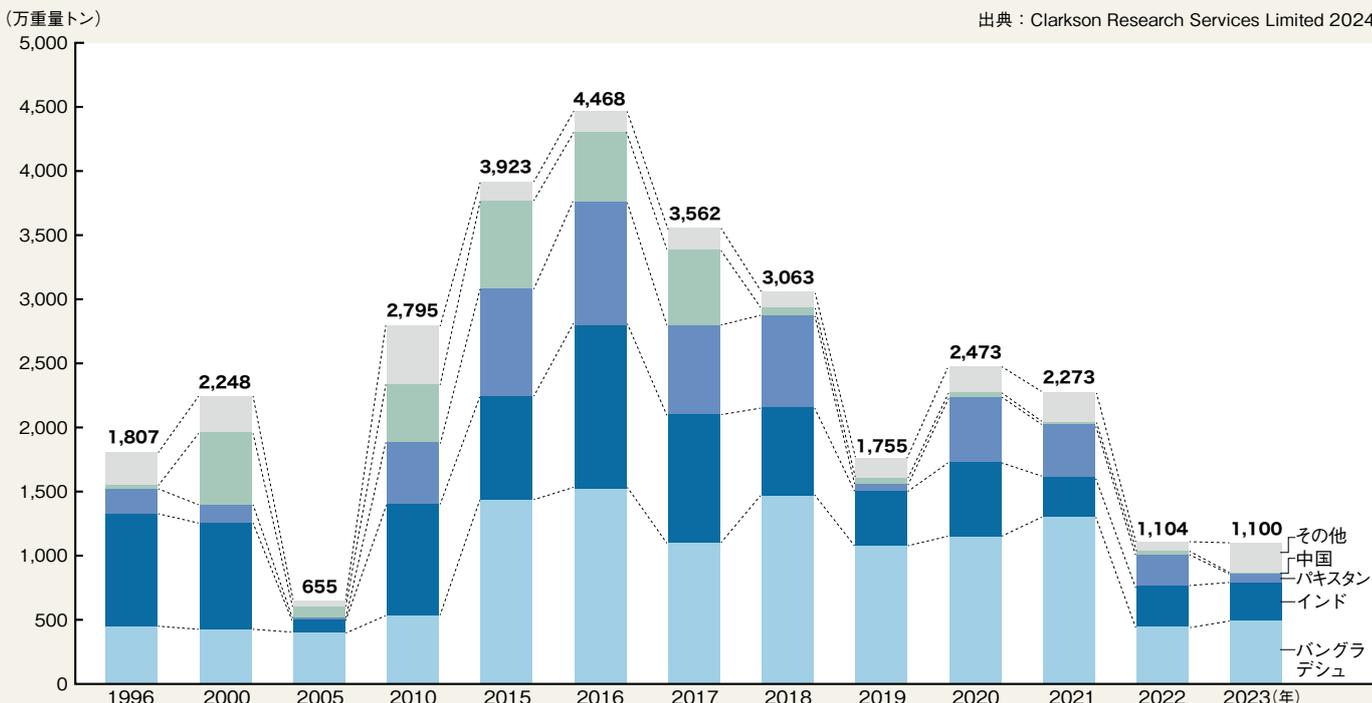
2023年の日本の商船建造量は990万総トン。日本と韓国、中国が世界の9割以上を占める三大造船国となっている。



- (注) ① ヨーロッパ内の主要造船国は、フランス、ドイツ、イタリア、ノルウェー等。2014年はヨーロッパは34カ国で算出。
② その他に含まれる主要造船国は、台湾、インド等。
③ 1995年の中国建造量は、その他に含む。
④ 2015年以降はClarksons Reserch「World Shipyard Monitor」による年末値である。
⑤ 端数処理のため、末尾の数字が合わない場合がある。

5 船舶解撤量

2023年の世界の船舶解撤量は1,100万重量トン。国別では、バングラデシュ、インドが多く、この2カ国で71.9%を占めている。

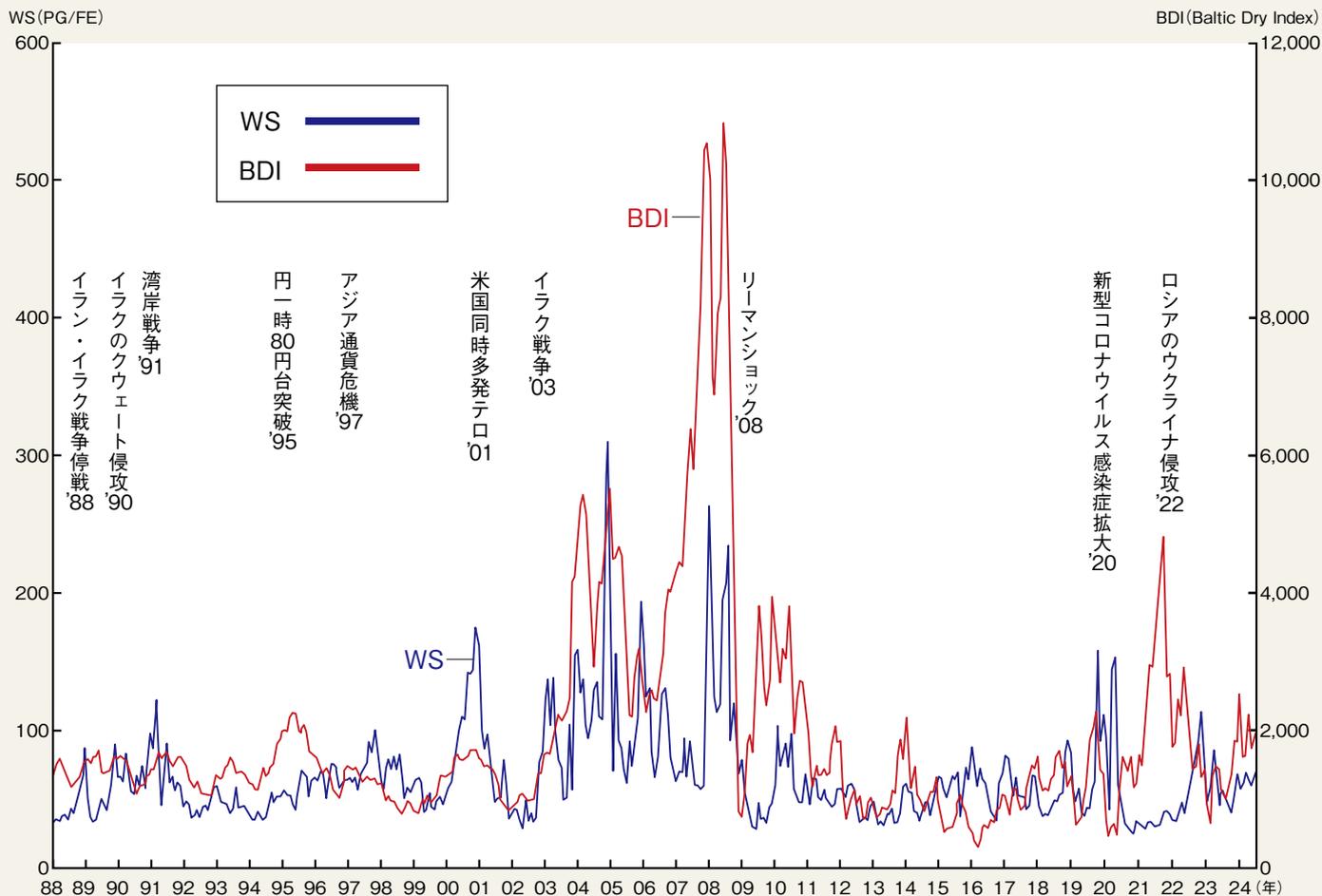


6 海運市況

2023年のドライバルク市況は上半期は中国経済の回復が遅れたことや景気後退懸念から前年度を下回って推移した。ケープサイズで年末にかけて市況が好転したこともあって8月以降は上昇傾向が続き、12月には2022年初頭の水準まで一時回復した。タンカー市況は1-3月は荷動きが堅調だったこともあって市況が好転したものの、春から秋にかけて運賃下落が続いた。しかし、秋以降は米国・中南米発の輸出が伸び市況は回復軌道に戻った。

出典：TRAMP Data Service [WORLD MARITIME ANALYSIS]

作成：(公財)日本海事センター



(注) ①BDI (The Baltic Exchange) 及びWS (中東／極東)は、TRAMP Data Service集積資料による。

②BDI (Baltic Dry Index): 乾貨物の海上輸送運賃指数 (総合指数、1985年1月を基準 (=1,000))

The Baltic Exchangeが毎営業日に、ドライマーケットの成約情報を1985年以来、一定の基準で継続発表している指数であり、乾貨物運賃の変動推移を示している。

③WS (World Scale Rate) はVLCC (24万D/W)、積地は中東、揚地は極東。